



三澤 信也 土木部 係長

Misawa Shinya

「地域の生活をより便利に」という思いがやりがいに

土木工事における全工程の管理責任者である「現場代理人」として、計画書の作成から予算の組み立て、発注者との打ち合わせ、現場での指示・管理、各種申請書類の作成、進行状況の記録など、多岐にわたる仕事を任せられています。

土木部の工事内容は、道路や橋の新設・改修、河川の改修といった公共事業が主体です。地域の生活に根ざした工事が多く、地域住民の方々とのコミュニケーションを大切にしながら進めるのですが、新たな橋や道が完成して地域の人から「便利になったよ」と声をかけていただいたときは、「皆さんのお役に立てた」という思いがこみ上げてきて本当に嬉しくなります。

工事の規模を問わず地域を支える、誇らしい仕事

工事の計画書はある程度天候を考慮して作成していますが、予想以上に悪天候が続き大幅に予定が遅れた場合の調整には苦労しますね。進行状況が把握に見えるだけに、状況によっては焦ることもあります。大変だった工事ほど完成したときの達成感も大きいです。

学生時代は「地図に残る仕事をした」と思っていたのですが、実際はどの工事もたとえ規模の大小はあっても何らかの形は残るもの。そして何より自分の手がけた工事が地域の生活を助け、支えることにつながるのはとても誇らしいですね。今後も技術者として、発注者からも会社からも信頼される存在になるよう、一つひとつの工事を丁寧に進めていきます。

